

新「共通特論Ⅱ」：臨床腫瘍学各論  
**乳がんに対する個別化治療**

講義日：2022年12月17日（土）

講師：柏木 伸一郎（大阪公立大学 乳腺外科学 講師）

**要旨**

乳がんは各種バイオマーカーや遺伝子の発現状況によってサブタイプに分類され、再発のリスクと治療効果が予測できるようになってきたため、他の癌と比べて患者さんごとに適した個別化治療が進んでいる。近年のマイクロアレイによる多遺伝子アッセイによって乳がんは6つのサブタイプ（Intrinsic subtype）に分類される。これは、ホルモン受容体（ER, PgR）、HER2受容体、Ki67による免疫組織分類の組み合わせと概ね一致するために現在、実臨床では代替的に分類がなされている。

本講義では、乳がんサブタイプについて概説し、そのサブタイプに応じた個別化治療について解説を行う。さらに免疫療法や抗体薬物複合体の登場により、複雑化した治療を簡潔に要約したい。